

グラフdeセンサス2015

グラフ

で

見て学ぶ

農林業センサス

第1回 農業経営体

2016年（平成28年）
6月発行
東海農政局統計部

グラフdeセンサス創刊にあたって

農林水産省では、農林業・農山村の現状と変化を的確に捉え、きめ細かな農林行政を推進するため、農林業を営んでいるすべての農家、林家や法人を対象に5年ごとに農林業センサスを実施しています。

最新の調査は、平成27年2月1日現在で「2015年農林業センサス」を実施し、平成28年3月25日に確定値を公表しました。

なお、農林業センサス結果の詳細は、農林水産省ホームページ【<http://www.maff.go.jp/j/tokei/>】でご覧いただけます。

グラフdeセンサスでは、2015年農林業センサス結果を中心に、東海3県（岐阜、愛知、三重）の農林業の動きを様々な観点から、毎月1回のペースで計10回にわたりご紹介します。

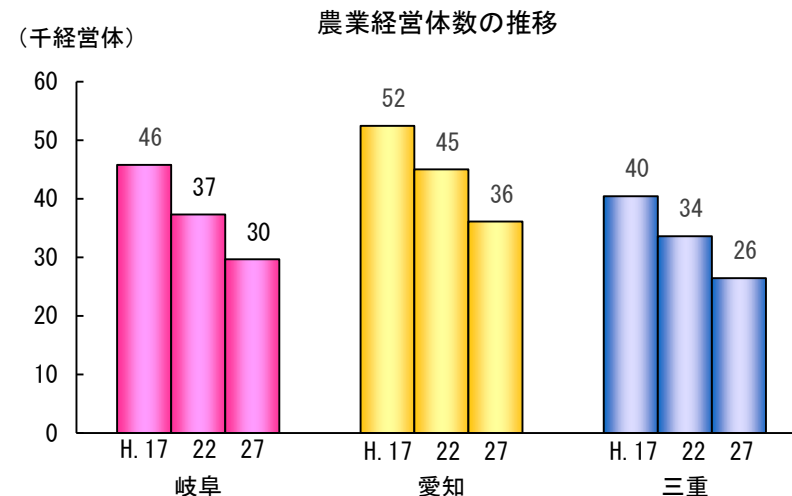


10年間の農業経営体数の推移をみると…

農業経営体数は3県とも大幅に減少

東海3県における平成27年までの10年間の農業経営体数の推移をみると、岐阜県が1万6,097経営体（35.2%）減少し2万9,643経営体、愛知県が1万6,335経営体（31.2%）減少し3万6,074経営体、三重県が1万3,977経営体（34.6%）減少し2万6,423経営体となっています。

また、農業経営体数の全国順位は、愛知県16位、岐阜県22位、三重県24位となっています。

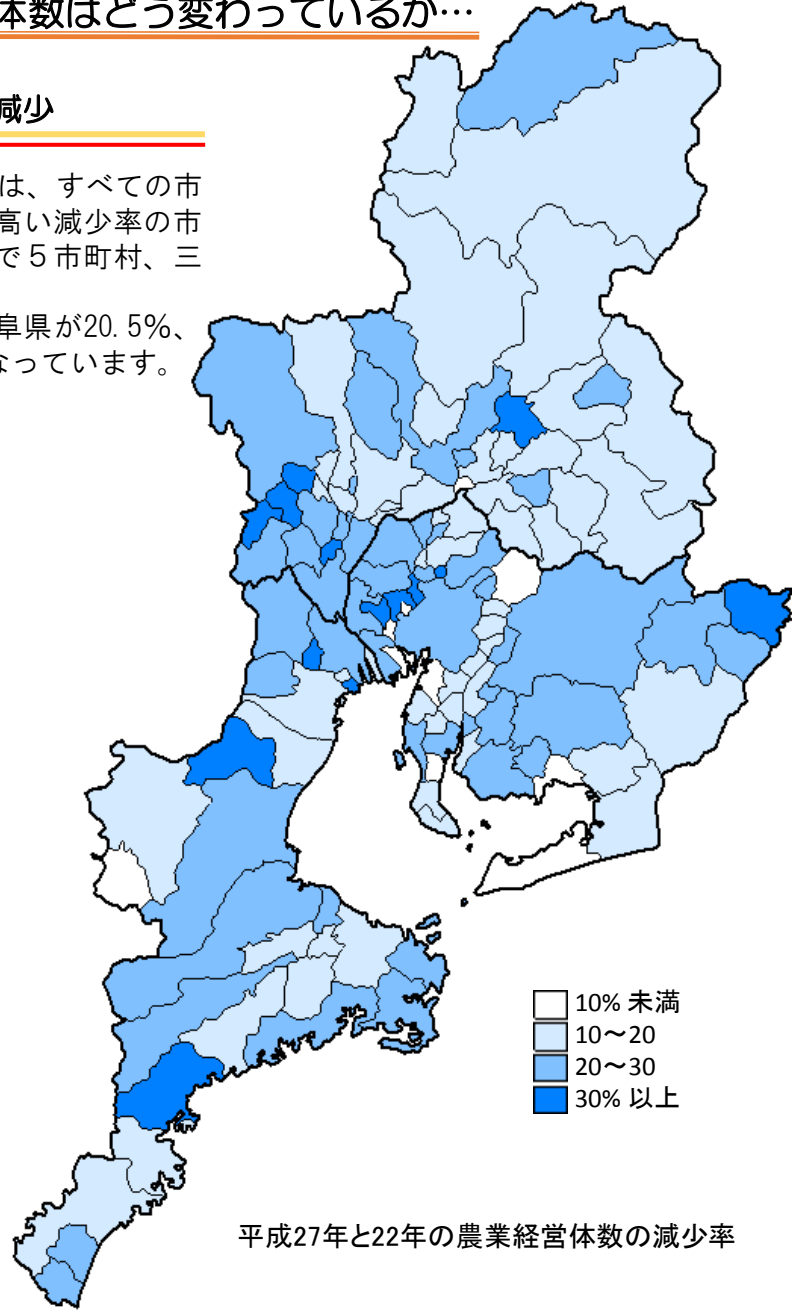


平成27年までの5年間で農業経営体数はどう変わっているか…

農業経営体数はすべての市町村で減少

東海3県125市町村の農業経営体数は、すべての市町村で減少しています。30%以上の高い減少率の市町村数をみると、岐阜県及び愛知県で5市町村、三重県では4市町村あります。

なお、県別の減少率をみると、岐阜県が20.5%、愛知県が19.8%、三重県が21.3%となっています。



愛知県 19.8%減少

大治町	1.6%
瀬戸市	3.7%
蟹江町	5.7%
：	：
あま市	37.8%
清須市	39.1%
豊根村	49.1%



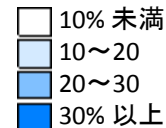
岐阜県 20.5%減少

坂祝町	5.3%
瑞浪市	11.0%
高山市	11.6%
：	：
垂井町	32.8%
輪之内町	33.7%
関ヶ原町	44.9%



三重県 21.3%減少

名張市	8.6%
朝日町	13.2%
尾鷲市	13.3%
：	：
東員町	33.9%
紀北町	46.0%
川越町	56.4%



平成27年と22年の農業経営体数の減少率

ランキング

経営体数の多い市町村

順位	市町村	経営体数
1位	津市	3,884
2位	豊橋市	3,522
3位	田原市	3,385
4位	伊賀市	3,320
5位	松阪市	3,201
6位	岐阜市	3,129
7位	豊田市	2,652
8位	高山市	2,529
9位	中津川市	2,476
10位	鈴鹿市	2,374

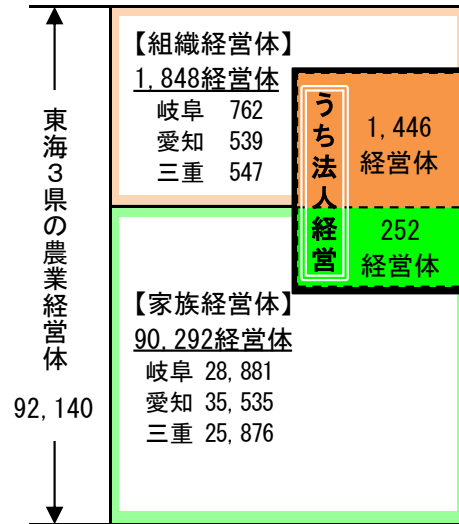
農業経営体のうち法人経営をみると…

法人経営が増加

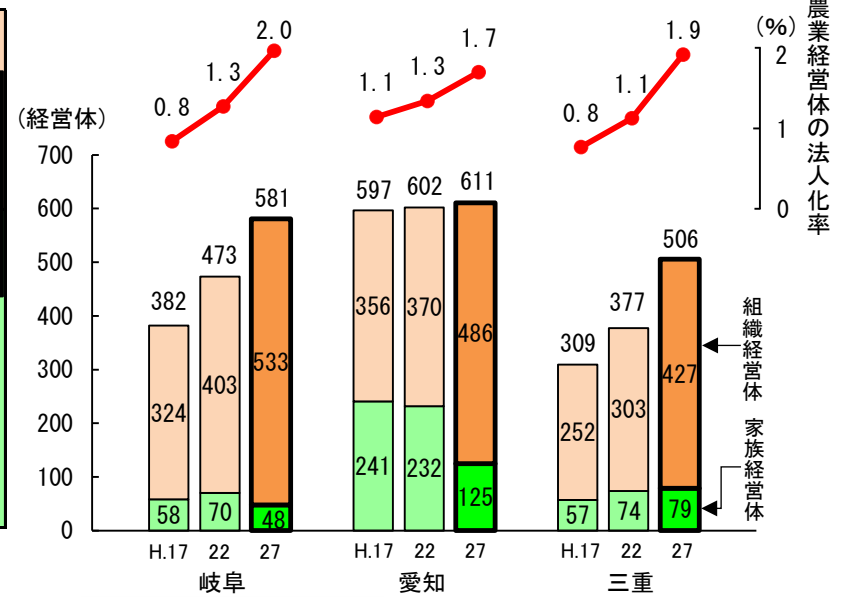
農業経営体のうち法人経営をみると、5年前に比べ岐阜県は108経営体（22.8%）増加し581経営体、愛知県は9経営体（1.5%）増加し611経営体、三重県は129経営体（34.2%）増加し506経営体となり、法人化が進んでいます。

また、法人経営を組織形態別にみると、株式会社などの会社が占める割合が高く、次いで農事組合法人の占める割合が高くなっています。

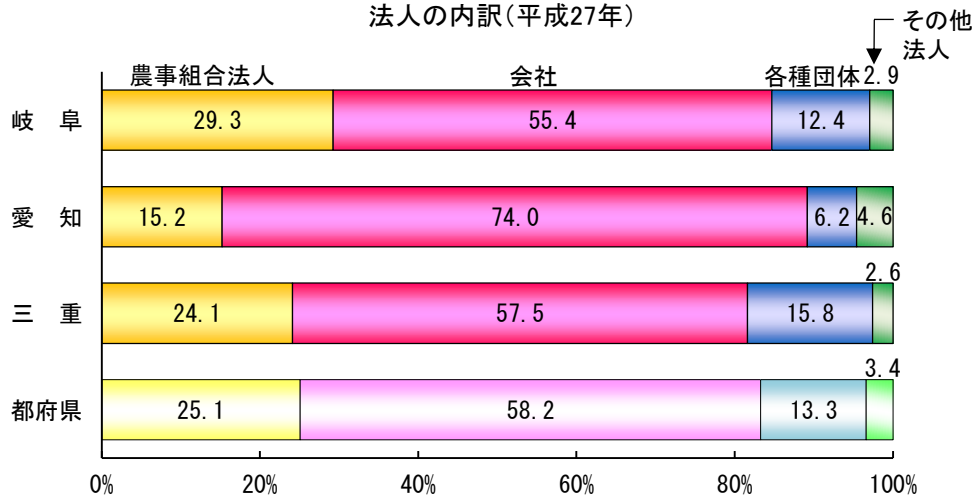
農業経営体の概念図(平成27年)



農業経営体の法人化の推移



法人の内訳(平成27年)



ココに注目!

農業経営体とは?

経営耕地面積30aまたは農産物販売金額50万円相当以上の規模の農業経営を行うものもしくは農作業受託を行うものをいいます。

農業経営体

=

【家族経営体】

家族労働を中心に世帯単位で経営を行う経営体をいいます。
(一戸一人法を含みます)

+

【組織経営体】

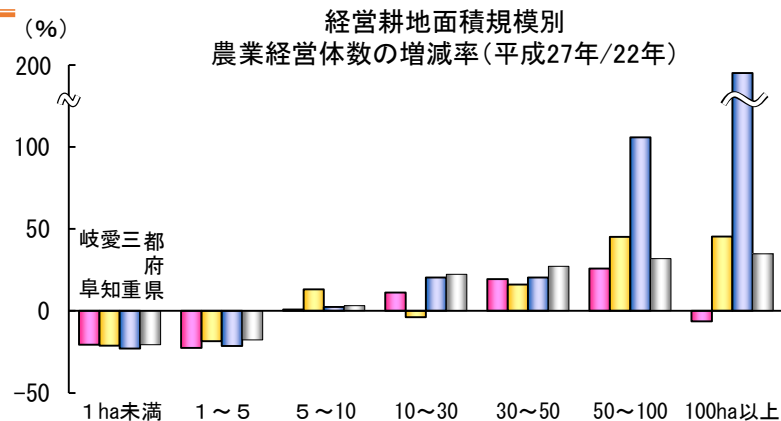
家族経営体以外の経営体で、法人格を有する農事組合法人、会社などのほか、法人格を有しない生産組合などの経営体をいいます。

経営耕地面積規模別に農業経営体数の増減率をみると…

経営耕地5ha以上の農業経営体は増加

農業経営体数を経営耕地面積規模別にみると、5～10haの階層を分岐点として下位階層では減少、上位階層では増加しています。

特に、三重県では50ha以上の階層で増加率が高くなっています。



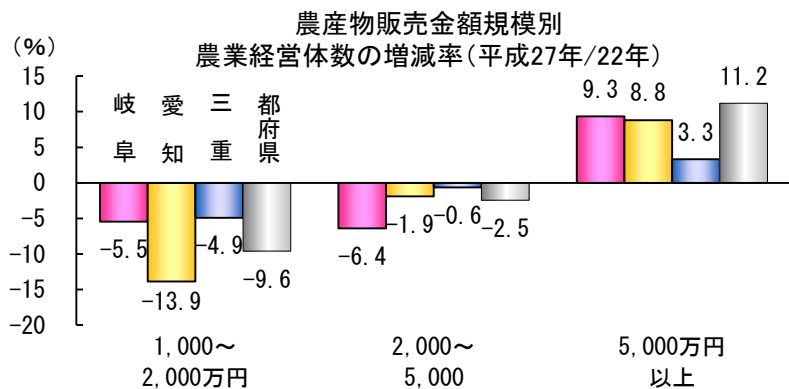
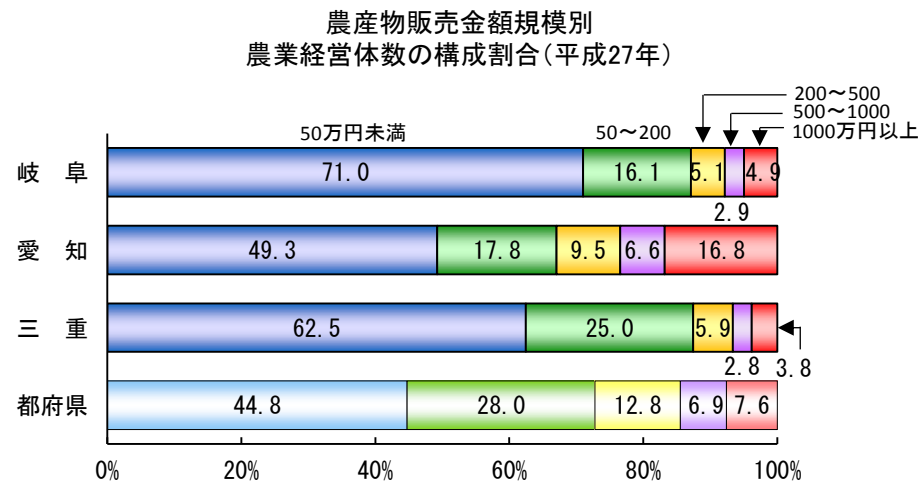
農産物販売金額規模別に農業経営体数をみると…

農産物販売金額5,000万円以上の階層は増加

農業経営体数を農産物販売金額規模別にみると、50万円未満の階層が各県とも最も多く、特に岐阜県では全体の71.0%を占めています。

また、1,000万円以上の階層で増減率をみると5,000万円以上の階層で増加しています。

※農産物販売金額には、水稻、麦類、豆類、野菜、果樹などの農産物に加え、畜産、花き・花木、その他作物（苗もの、飼料作物など）が含まれています。



お問い合わせ先

東海農政局 統計部 経営・構造統計課
電話：(052) 763-4731
FAX：(052) 763-4709